

# 地球環境にやさしいバス

地球温暖化防止のため、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量の2割強を占める自動車部門の排出抑制が課題となっています。そのためCO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>（窒素酸化物）等の排出量の削減に寄与する低公害車が近年導入されています。その中で低公害バスをご紹介します。



## アイドリングストップバス

都市部などの渋滞が多い走行において、無駄なアイドリング中にエンジンを停止させ、燃料消費を抑えるとともに排気ガスの総排出量を減少させるために、自動でエンジンを停止させて発車時には再び始動させることのできるバスです。

## CNG（圧縮天然ガス）バス

天然ガスを燃料として走るバスで、NO<sub>x</sub>の排出が少なく、SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）や黒煙がまったく出ず、そのうえ騒音や振動が低い環境にやさしいバスです。

## ディーゼル・電気式ハイブリッドバス

走行中に発生した運動エネルギーは、ブレーキング時に摩擦エネルギーに変わって大気中に放散されてしまいます。この大気放散エネルギーをうまくバッテリーに蓄え、車が発進・加速するときの動力源として再利用するシステムを搭載したバスです。燃料消費や排出ガス・黒煙の低減にもつながります。

## ディーゼル・蓄圧式ハイブリッドバス

走行中に発生した運動エネルギーは、ブレーキング時に摩擦エネルギーに変わって大気中に放散されてしまいます。この大気放散エネルギーを油圧エネルギーとして油圧ポンプにより圧力容器に蓄え、発進・加速するときの動力源として再利用するシステムを搭載したバスです。ディーゼル車特有の発進・加速・登坂時の黒煙やNO<sub>x</sub>の大量排出が削減され、さらに燃費も向上します。